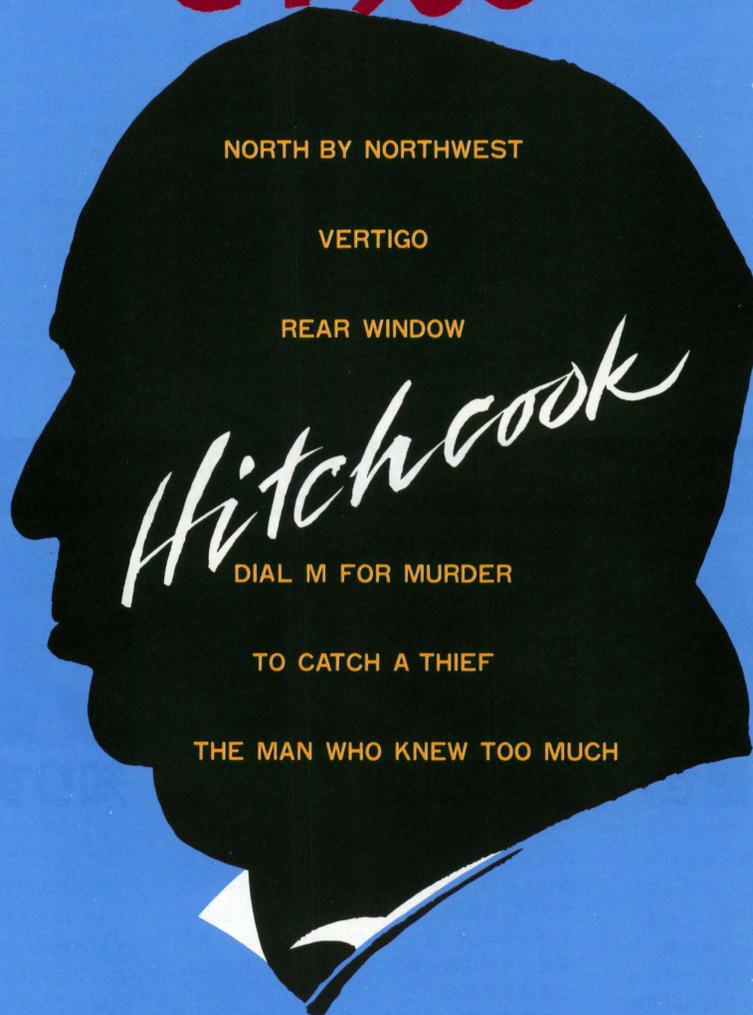


ヒッチコック を観る



9/22金-29金
●毎日3回の上映はありません



北北西に進路を取れ

ケイリー・グラント
エヴァ・マリイ・セント
NORTH BY NORTHWEST
1959年 カラー

9/30金-10/6金



めまい

ジェームズ・スチュアート
キム・ノバク
VERTIGO
1958年 カラー

10/7金-13金



裏窓

ジェームズ・スチュアート
グレース・ケリー
REAR WINDOW
1954年 カラー

10/14金-20金



ダイヤルMを迴せ!

レイ・ミラント
グレース・ケリー
DIAL M FOR MURDER
1954年 カラー

10/21金-27金



泥棒成金

ケイリー・グラント
グレース・ケリー
TO CATCH A THIEF
1955年 カラー

10/28金-11/3金



知りすぎていた男

ジェームズ・スチュアート
ドリス・デイ
THE MAN WHO KNEW TOO MUCH
1956年 カラー

生誕90周年記念レイト・ロードショー!

銀座テアトル西友

●銀座線京橋駅下車2番出口上る ☎03(535)6000

配給:日本ヘラルド映画



北北西に進路を取れ

ヒッチコック お気に入りのもう1人の男優、ケイリー・グラント（「断涯」「泥棒成金」など）の主演作。スチュアートの主演よりアクションが一段と華やかで、グラントはいつも歩り回っていた印象である。

PR業者のロジャー（グラント）はひよんなことからジョージ・キャプランなる男と間違われて誘拐され、結果は警察に追われる身となる。キャプランなる男のあとを追うと、その男はニューヨークからシカゴと行先を変え、姿をくらます。途中でイブ（エヴァ・マリイ・セント）という女が現れてロジャーを助けてくれるが、彼女はバンダム（ジェームズ・メイソン）とサウスダコタ州ラビッド・シティのラシュモア山麓にまで行き、そこから外国に飛ぶという。イブを愛しはじめたロジャーは、彼女を助けようとするが……。

途中でラブ・ロマンスが展開したり、大平原で複製機に追われたりと見せ場たっぷりだ。



めまい

高所恐怖症のためサンフランシスコ警察をやめたも警官スコティ（ジェームズ・スチュアート）。まだ全快してない彼に友人が妻マドレーン（キム・ノヴァク）の行動がおかしいから見張ってほしいとたのむ。スコティは美しいマドレーンに恋をするが、彼女は塔にかけのぼつて自殺してしまった。その後スコティは街でマドレーンそっくりの店員ジュディ（ノヴァク二役）を発見する。スコティはジュディを愛し、赤毛のジュディにマドレーンそっくりの金髪にさせ、衣服も真似させる。いやがっていたジュディは、実はあのマドレーンは自分で、友人の妻殺しを完全犯罪にするためのトリックだったと告白して、今度はほんとに塔からおちて死んでしまう。

人妻への禁断の恋を下敷きに、高所恐怖症のトリックを逆利用したサスペンス。



裏窓

ニューヨーク、グリニッジ・ビレッジのアパートが舞台。雑誌社の報道カメラマン、ジェフ（ジェームズ・スチュアート）が足を骨折して退屈している。見えるのは中庭をへだてた反対側のアパートの窓ばかりで、それともなく「のぞき見」をしているうち、中年セールスマン（レイモンド・バー）が病気の妻を殺し、コマ切れにして運び出したに違いないと憶測しはじめる。彼のガールフレンドでファッション・モデルのリザ（グレース・ケリー）も、通いの看護婦ステラ（セルマ・リッター）も、その気になり、相手の部屋にまで忍び込んで証拠さがしに熱中する。やがてセールスマンはジェフに気付き、彼を殺しにやってくる。

主人公が動けない体というこわさ。前後5日間のドラマだが、ジェフののぞき見の遠望カメラはアパートの住人たちの生活をも描写し、心にくい。

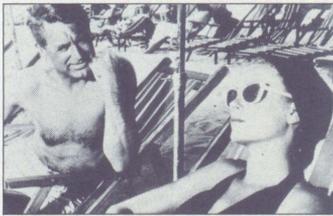
原作は「黒衣の花嫁」などのコーネル・ウォールリッチ。グレース・ケリーのファッションも見どころ。

スリラーの王様、アルフレッド・ヒッチコック! 見ついてもハラハラ、ドキドキは新鮮だ!



ダイヤルMを廻せ!

ヒッチコックの実験精神はこの作品を3Dで撮ったことにも現れている。有名なグレース・ケリーの殺人シーンなど、3Dならではの効果があったに違いない。原作は「暗くなるまで待つ」のフレデリック・ノットの舞台劇。ゆえにカメラは殺人の行なわれる部屋からほとんど出ないのも面白い。ヒッチコック独得の用意周到まで、あらゆる角度から事件の運びと人物の動きを描き出し、息づまるような緊張と手に汗を握るようなスリルのシーンを連続展開させ、舞台とは違った興奮の雰囲気を作り出し、単に探偵ものとしてではなくむしろ心理的スリラーに仕上がっている。妻殺しを依頼した男を逆に妻に刺殺された夫は、妻の故意の殺人に見せかけようとするが……。ヒッチコックが全作品をグレース・ケリーで撮りたいと言うほど、彼女を気に入った初コンビ作。



泥棒成金

ディビッド・ドッジの探偵小説を「裏窓」の名シナリオライター、ジョン・M・ヘイズが脚色し、カメラを南仏リビエラに持ち込んでのサスペンス映画。南仏リビエラの海と、優雅なファッション。宝石泥棒のミステリーと、美男美女。存分に観光気分を満喫させてくれるそんな素敵な映画だ。

その昔「猫」と呼ばれた宝石泥棒のロビー（グラント）。対独レジスタンスの功績を認められモンテカルロに居住を許されていたが、最近、「猫」そっくりの宝石泥棒が次々と別荘を荒らし、この嫌疑がかかってきた。ロビーはニースに逃がれ、友人ベルダの指示により、「ニセ猫」を捕えるべく畏ししかける。アメリカ人旅行者ステイブンス夫人に近づき、娘のフランシー（グレース・ケリー）と出会う。ロビーはクールで神秘的なフランシーに見とれ何度となく、「ニセ猫」にしてやられる。しかし、ある夜遂に屋根の上に「猫」を追いつめるのだが……。



知りすぎていた男

ヒロイン、ドリス・デイが歌った主題歌「ケ・セラ・セラ」が一世を風靡した。

アメリカの医師ベン（ジェームズ・スチュアート）はもと歌手だった妻ジョー（ドリス・デイ）と息子ハンクを連れ、パリの学術会議のあと、フランス領モロッコに観光へ行った。マラケシュでベンはフランス人のルイ（ダニエル・ジェラン）と知りあうが、ルイはベンに「アンブローズ・チャペル」と謎の言葉を残して殺される。ルイはある暗殺事件の捜査のためつかわされたフランスのスパイであった。ベンも息子を何者かに誘拐され、独自に捜査して、アンブローズ・チャペルという礼拝堂を中心に暗殺計画が練られ、アルバート・ホールで遂行されることに気付いた。

実はこの映画、ヒッチコックのイギリス時代の代表作「暗殺者の家」(34年)のリメイク、よほど気に入ったテーマだったらしい。

★当日料金★
〈一般〉
1,600円
〈学生〉
1,300円(税込)

北北西に進路を取れ	9/22(金)ー 29(金)	8:50開映 11:06終了
めまい	9/30(土)ー10/6(金)	9:20開映 11:28終了
裏窓	10/7(土)ー 13(金)	9:20開映 11:12終了
ダイヤルMを廻せ!	10/14(土)ー 20(金)	9:20開映 11:05終了
泥棒成金	10/21(土)ー 27(金)	9:20開映 11:06終了
知りすぎていた男	10/28(土)ー11/3(金)	9:20開映 11:19終了

ヒッチコック生誕90周年記念レイト・ロードショー
銀座テアトル西友
☎03(535)6000 ●銀座線京橋駅下車2番出口

9月23日の上映はありません。